

16. 麻酔科臨床プログラム

1 プログラムの目標と特徴

卒後臨床研修プログラムにおいて、麻酔科へローテイトして来た医師に対し、3カ月間の研修で習得可能と思われる研修内容と到達目標を示す。

2 教育課程

年間における研修期間

	4-6	7-9	10-12	1-3
1年次	麻酔科	麻酔科	麻酔科	麻酔科

3 週間スケジュール

	8:00	8:30	17:00頃
月	抄読会	麻酔、術前の患者診察	翌日の麻酔計画
火		麻酔、術前の患者診察	翌日の麻酔計画
水		麻酔、術前の患者診察	翌日の麻酔計画
木		麻酔、術前の患者診察	翌日の麻酔計画
金		麻酔、術前の患者診察	翌日の麻酔計画

4 研修内容と到達目標

- ① 麻酔前の患者管理および麻酔計画立案
術前診察、患者の評価、前投薬の出し方
患者との接し方
- ② 末梢静脈確保
- ③ 動脈穿刺、動脈内カテーテル留置
- ④ 全身麻酔と全身麻酔中の患者管理
麻酔器具、麻酔器の理解
気道の確保、挿管困難症例対策
用手人工呼吸、人工呼吸器による人工呼吸
吸入麻酔
全静脈麻酔
モニタリング機器の使用法と得られた結果の理解、対策
循環器系薬剤の使用法、不整脈の種類と対策

- ⑤ 脊椎麻酔
手技、実施、理論
- ⑥ 硬膜外麻酔
手技、実施、理論
- ⑦ 輸液、輸血、血液製剤の適切な使用法について理解する
- ⑧ 術前・術後の患者回診とカルテへの記載。記載の重要性の理解
術中麻酔記録について記載法の理解と記載。記載の重要性の理解

5 評価方法

研修医は、指導医のもとで麻酔をかけ、終了後自己評価表を提出するとともに、指導医の評価を受ける。

麻酔科評価項目表

A：十分に到達した B：一応経験した C：不十分であった

到達評価目標	自己評価			指導医評価		
	A	B	C	A	B	C
1) 気道の確保						
a マスク保持、エアウェイ挿入						
b 気管内チューブ挿管						
c ラリングマスク挿入						
d 挿管困難対策						
2) 麻酔準備						
a 麻酔器の点検						
b 物品のチェック						
3) 術前評価、麻酔計画						
a) 術前の全身状態の把握						
b) 適切な麻酔計画立案						
4) 末梢静脈確保						
5) 動脈穿刺、動脈カテーテル留置						
6) 全身麻酔中の患者管理						
a 吸入麻酔、静脈麻酔薬の知識						
b 用手人工呼吸						
c 人工呼吸器使用						
d 筋弛緩薬の使用						
e 循環器系薬剤の適正な使用						
f 輸液、輸血・血液製剤の使用						
7) くも膜下腔穿刺						
8) 硬膜外腔穿刺						
9) 各種モニターの理解						
10) 麻酔薬、麻薬の管理						
11) 術前診察記録、麻酔記録の記載						